

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 SEC スタンダード	Subject Area / Class 教科 / 科目	Communication English III	Class hours 時間数	5 時間 / 週
----------------------------------	-----------------	---------------------------------	---------------------------	--------------------	----------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	パラグラフ・文の構造	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Speak out of the future (p6-p18)
------------------------------	------------	-------------------------------------	----------------------------------

Unit Description 単元の概要	<p>ライティングの手法について考えることがメインテーマである。文法的ミスが少なく、少ない時間で効率的にまとまった量の文章を書く練習をすることは自身の文法理解を深めると同時に語彙力を高める。まずはLesson 1 Speak for the futureの要約から始まり、続いて誤文の訂正、そしてパラグラフ全体の校正を行うステップを踏むことでライティング技術の向上に努める。</p>
---------------------------	---

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 ②提出物とプレゼンテーションに授業中の活動の結果が反映されている。	B3 ①英検準1級レベルのライティングを合格レベルで書きこなせる。	C3	A3	②プレゼン原稿に授業中に習得した表現を積極的に取り入れ、完成度を高める。	B3 ①社会性の高いテーマについて、破たん無く理論的なライティングを時間内できる。	C3
好	A2 ①実際の提出物に授業中に習得したものが反映されている。 ②長文の内容を一読して理解できる。	B2 ①意見、理由、具体例といったエッセイに必要な要素を過不足なく取り入れている。 ②ワークシート	C2	A2	①習得した単語をエッセイやプレゼンで実際に使用する。 ②日本語をできるだけ介さず早く英文読む。	B2 ①複雑な文章を破たん無く書くことができる。 ②他人の書いたエッセイについて、文法の誤りや内容の矛盾に言及する。	C2
知	A1 ①単語テストの点数 ②内容に関する質問に英語で答えられる。 ③論旨の一貫したライティングができる	B1 ①接続詞を適切に用いて論理的な展開が書ける。②特に主語と動詞の一致に気を付けて慎重な文が書けている	C1	A1	①単語テストを実施し、語彙力をつける ②長文を読み、内容を理解する。 ③与えられたテーマについて、ライティングを行う。	B1 ①平易な文や単語だけでなく、接続詞や別の言い回しを駆使してライティングする。 ②文法的誤りや誤表現を指摘する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking				

Others 備考	<p><評価方法> ①単語テスト ②ワークブック提出 ③ワークシート提出 ④インタビューテスト <ICT> ①Google Classroom ②Google Form ③iTunes U ④Keynote ⑤Pages</p>
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 SEC スタンダード	Subject Area / Class 教科 / 科目	Communication English III	Class hours 時間数	5 時間 / 週
----------------------------------	-----------------	---------------------------------	---------------------------	--------------------	----------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	パラグラフ・文の構造	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Speak out of the future (p6-p18)
------------------------------	------------	-------------------------------------	----------------------------------

Unit Description 単元の概要	前タームに引き続き、ライティングと文法のセルフチェックにフォーカスするが、1学期後期はさらに内容を高度化する。前タームより続く企業の商品プレゼンテーションプロジェクトの発表に向け、内容をブラッシュアップする過程で自身の英語力に向き合う。一方でインタビュー形式の試験を実施し、書くことだけにとどまらず話すことにも学習の成果を反映させる。
---------------------------	---

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 ②提出物とプレゼンテーションに授業中の活動の結果が大いに反映されている。	B3 ①プレゼンテーションの内容と発言姿勢や、それに至る原稿の変遷と改善を評価する。	C3	A3 ②プレゼン原稿に授業中に習得した表現を積極的に取り入れ、完成度を高める。	B3 ①社会性の高いテーマについて、破たん無く理論的なライティングを時間内にこなせる。加えてそれらを発話できる。	C3
好	A2 ①実際の提出物に授業中に習得したものが反映されている。 ②長文の内容を一読して理解できる。	B2 ①意見、理由、具体例といったエッセイに必要な要素を過不足なく取り入れている。 ②プレゼンテーションの出来で評価する	C2	A2 ①習得した単語をエッセイやプレゼンで実際に使用する。 ②日本語をできるだけ介さず早く英文読む	B2 ①複雑な文章を破たん無く書くことができる。 ②必要な情報を盛り込んだプレゼンテーションを行う。	C2
知	A1 ①単語テストの点数 ②あるトピックについて必要な情報を口頭でも伝えられる。 ③必要な情報が過不足なく盛り込まれている。	B1 ①接続詞を適切に用いて論理的な展開が書ける。②特に主語と動詞の一致に気を付けて慎重な文が書けている。	C1	A1 ①単語テストを実施し、語彙力をつける ②会話テストで自分の意見を発信する。プレゼンの原稿を完成させる。	B1 ①平易な文や単語だけでなく、接続詞や別の言い回しを駆使してライティングする。 ②文法的誤りや誤表現を指摘する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ①単語テスト ②ワークブック提出 ③ワークシート提出 ④インタビューテスト <ICT> ①Google Classroom ②Google Form ③iTunes U ④Keynote ⑤Pages
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 SEC スタンダード	Subject Area / Class 教科 / 科目	Communication English III	Class hours 時間数	5 時間 / 週
----------------------------------	-----------------	---------------------------------	---------------------------	--------------------	----------

2 学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	グラフと分析	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	How Language Shapes Through(p96-p110)
------------------------------	--------	-------------------------------------	---------------------------------------

Unit Description 単元の概要	2学期は学期を通してグラフや表を分析することを主眼とする。具体的な数字や事実をエッセイに織り込み、よりアカデミックで専門性の高い内容が書けるようになることが目的であるが、同時にそういった文章を正確に読解する力を養う。グラフや表から情報から英文を書き起こし、それらをまとまりのあるパラグラフにすることから始め、最終的には持論を補強する材料に使えるようにする。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 ①専門性の高い語彙を使いこなし、ミスなく表現し、理解できる。	B3 ①適切に資料を選び、正確かつ有効に持論の補強できているかを評価する。	C3	A3	A3 ①興味のある事柄についてグラフや資料を活用して意見を発信できる。逆にそのような文章を読み、理解する。	B3 ①ジャンルを問わず与えられたテーマについて資料を活用して英文にでき、理論的な英文に書き起こせる。	C3
好	A2 ①平易な表現を避けることを心がけている。 ②必要な情報を過不足なく含み出典が明確。	B2 ①自身の意見に対して適切に資料を選んで活用して、出典を明らかにしている。	C2	A2	A2 ①グラフや数値を扱う場合に頻出の語彙を用いて英作文する。 ②自身の関心のあるテーマにおいて資料を活用できる。	B2 ①グラフや表を用いて社会性のあるテーマで持論を展開できる。	C2
知	A1 ①単語テストの点数 ②英作文にグラフや表の情報反映されている。	B1 ①情報を基に説得力のある文が書ける。 ②文法語法の誤用が少ない英文がかけていて、1学期の内容が活かされている。	C1	A1	A1 ①単語テストを実施し、語彙力をつける ②グラフや表を読み取り、自身の言葉で英語に表現する。	B1 ①グラフや表の情報を自分の意見に取り入れる。 ②文法語法のミスなく英文を書く。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking				

Others 備考	<評価方法> ①単語テスト ②ワークブック提出 ③ワークシート提出 ④インタビューテスト <ICT> ①Google Classroom ②Google Form ③iTunes U ④Keynote ⑤Pages
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 SEC スタンダード	Subject Area / Class 教科 / 科目	Communication English III	Class hours 時間数	5 時間 / 週
----------------------------------	-----------------	---------------------------------	---------------------------	--------------------	----------

2 学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	グラフと分析	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Buildings Have Meaning(p134-p145)
Unit Description 単元の概要	前ターム同様に資料を基に意見を構築して表現するのみならず、それに対して反駁ができるようになることを目標とする。実際にエッセイを読んでそれについて意見を書く入試問題もあり、他人の意見をしっかりと踏まえ、自分の意見を述べる力は必要不可欠と言える。まずは他人の発した情報を読み取ってポイントを押さえ、それらについて反対、賛成、異論、代案などを考えていく。		

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容				
楽	A3 ①専門性の高い語彙を使いこなし、ミスなく表現し、理解できる。	B3 ①相手の意見を過不足なく取り入れ、適切な反駁ができています。	C3	A3	①興味のある事柄についてグラフや資料を活用して意見を発信できる。逆にそのような文章を読み、理解する。	B3 ①相手の意見を総合的に理解し、それについて口頭で自分の考えを述べる事ができる(ディベート)。	C3
好	A2 ①平易な表現を避け、専門性の高い表現を心がけている。 ②必要な情報が過不足なく含まれ、よどみなく話すことができる。	B2 ①筆者の意見を理解し、英文に示された情報を適切に拾い上げ、自身の意見構築に活用できている。	C2	A2	①グラフや数値を扱う場合に頻出する語彙を使って英文を書く。 ②与えられた情報を基に自身の意見を添えて発言できる。	B2 ①グラフや表を用いた社会性の高いテーマについての英文を読み、それに対し自身の考えを述べる。	C2
知	A1 ①単語テストの点数 ②英作文にグラフや表の情報が反映されている。	B1 ①情報を基に説得力のある文が書ける。 ②1学期の学習内容を踏まえ、文法語法の誤用が少ない。	C1	A1	①単語テストを実施し、語彙力をつける ②グラフや表を読み取り、自身の言葉で英語に表現する。	B1 ①グラフや表の情報を自分の意見に取り入れる。 ②文法語法のミスなく英文を書く。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking				

Others 備考	<評価方法> ①単語テスト ②ワークブック提出 ③ワークシート提出 ④インタビューテスト <ICT> ①Google Classroom ②Google Form ③iTunes U ④Keynote ⑤Pages
--------------	--